

今年は、紅葉が少し遅れていますが、コシアブラ・タカノツメなどの紅葉を楽しむなど、この時期の自然観察を楽しみました。打下城跡は、地図片手に遺構を確認しながら歴史ロマンに思いを馳せました。帰りに、圓光寺にある分部家墓所に寄りました。今日も自然に感謝。出会いに感謝の一日でした。

◆歴史

打下城は、永正2年（1505）に高島玄蕃充が築城したのを創築とし、その後、海津正義の居城になった。また、元龜年間後期には、林与次左衛門（員清かずきよ）の城となり、元龜4年（1574）7月26日高島の城戸城。田中城攻めた織田信長が逗留したと伝わる。元龜年間（1570～1572）には、江北の浅井氏か越前の朝倉氏によって改修されたと考えられている。

打下城は、大溝古城ともいわれ、信長の高島郡攻略後は、眼下の琵琶湖に面した地に、甥の信澄によって大溝城が築かれた。

◆ハイキングの様子



日吉神社



↑ホコリタケの観察



触れるほこりがでる



昔のシシガキ



現在は金網

クマシデにびっくり！



足元に注意して



サネカズラの実



クマシデ



山菜の女王“コシアブラ”の観察



打下城跡 主曲輪



主曲輪：案内板



虎口



石垣



小曲輪群



北曲輪の石垣

大きな倒木にビックリ！



畝状堅堀を観察



北曲輪で記念撮影



帰る（引き返す）



大きな炭窯跡を観察



ヤタケ

↑元龜年間（1570～1572）には、江北の浅井氏か越前の朝倉氏によって改修されたと考えられている。



ニッケ



ニッケの香り確かめる
葉を揉むと香がする。

料・
など
てい
言い
・健



圓光寺①



分部家墓所①



②



③



④

お疲れさまでした。